

2019年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年12月27日

上場会社名 夢の街創造委員会株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2484 URL <http://www.yumenomachi.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 利江
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 ビジネスサポート本部長 (氏名) 宮下 淳 (TEL) 03-4500-9380
 四半期報告書提出予定日 2019年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第1四半期の連結業績(2018年9月1日~2018年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第1四半期	1,433	18.8	102	△50.1	111	△46.8	91	△35.4
2018年8月期第1四半期	1,206	△0.3	205	△2.5	210	0.9	141	18.7

(注) 包括利益 2019年8月期第1四半期 166百万円(△2.6%) 2018年8月期第1四半期 171百万円(34.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年8月期第1四半期	2	25	2	21
2018年8月期第1四半期	3	50	3	44

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2019年8月期第1四半期	6,404		3,289		51.3
2018年8月期	6,502		3,268		50.1

(参考) 自己資本 2019年8月期第1四半期 3,284百万円 2018年8月期 3,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2018年8月期	—	0.00	—	3.60	3.60	
2019年8月期	—					
2019年8月期(予想)						

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年8月期(予想)配当金につきましては、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表いたします。

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日~2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	7,681	41.4	100	△88.1	117	△86.2	79	△85.8	1	96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年8月期1Q	44,390,400株	2018年8月期	44,390,400株
2019年8月期1Q	3,609,674株	2018年8月期	3,883,274株
2019年8月期1Q	40,623,038株	2018年8月期1Q	40,491,138株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2018年9月1日から2018年11月30日）につきまして、当社グループは、基本方針である「出前館事業における強固な事業基盤の構築」に向けて、様々な施策に取り組んでまいりました。

主要戦略であるシェアリングデリバリー®事業展開の加速について、自店で出前の配達を行っていない「かっぱ寿司」などの大手人気チェーンや地元の人気店舗が『出前館』に加盟いたしました。また、2018年11月から北関東でシェアリングデリバリー®の展開を始めたことに加え、新たな協業パートナーとして、ジャパンベストレスキューシステム株式会社による配達拠点の運営を開始したことなどにより、配達拠点は2018年11月末時点で合計78拠点となりました。

また、2018年10月から「Amazon Alexa」への対応を開始し、「Amazon Echo」等を経由した音声での出前注文が可能になりました。

なお、当第1四半期連結会計期間で子会社であったPT Klik Eat Indonesia株式の一部を売却したため、連結の範囲から除外するとともに関係会社株式売却益15,667千円を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,433,572千円（前年同期比18.8%増）、営業利益は102,791千円（前年同期比50.1%減）、経常利益は111,964千円（前年同期比46.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は91,524千円（前年同期比35.4%減）となりました。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
基本運営費	91,365	7.6	114,311	8.0	22,945	25.1
オーダー手数料	562,768	46.6	703,051	49.0	140,283	24.9
広告収入	4,879	0.4	4,287	0.3	△592	△12.1
その他	199,892	16.6	294,993	20.6	95,100	47.6
小計	858,906	71.2	1,116,643	77.9	257,737	30.0
通信販売事業	347,962	28.8	316,928	22.1	△31,034	△8.9
合計	1,206,868	100.0	1,433,572	100.0	226,703	18.8

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第1四半期連結会計期間末におけるアクティブ会員数は約274万人（前年同期比11.6%増）、加盟店舗数は17,834店舗（前年同期比13.5%増）、オーダー数に関しましては約628万件（前年同期比23.6%増）となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高の内訳は、基本運営費114,311千円、オーダー手数料703,051千円、広告収入4,287千円、その他294,993千円となり、セグメント売上高は1,116,643千円（前年同期比30.0%増）となりました。

②通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、飲食店向けに焼酎などの通信販売を行い、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は316,928千円（前年同期比8.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で210,390千円減少し、5,059,568千円となりました。減少の主な要因は、未収入金が242,677千円増加した一方、現金及び預金が408,909千円減少したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で112,280千円増加し、1,344,479千円となりました。増加の主な要因は、投資有価証券が108,860千円、ソフトウェア仮勘定が7,266千円増加した一方、ソフトウェアが1,771千円減少したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で98,109千円減少し、6,404,048千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で151,670千円減少し、3,012,966千円となりました。減少の主な要因は、未払金が416,043千円増加した一方、短期借入金が500,000千円、未払法人税等が70,189千円減少したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で33,415千円増加し、102,006千円となりました。増加の主な要因は、その他が34,417千円増加した一方、長期借入金が1,002千円減少したことによるものです。

この結果、負債残高は、前連結会計年度末比で118,254千円減少し、3,114,973千円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末比で20,145千円増加し、3,289,074千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を91,524千円計上する一方、剰余金の配当を145,825千円支出したほか、その他有価証券評価差額金が76,470千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月期の連結業績予想につきましては、2018年10月11日公表の「2018年8月期 決算短信」に記載した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,928,218	2,519,309
受取手形及び売掛金	350,154	321,643
商品及び製品	61,238	69,148
未収入金	1,864,879	2,107,557
その他	69,364	48,722
貸倒引当金	△3,897	△6,812
流動資産合計	5,269,958	5,059,568
固定資産		
有形固定資産	122,855	121,306
無形固定資産		
ソフトウェア	588,166	586,395
ソフトウェア仮勘定	16,015	23,281
その他	138	138
無形固定資産合計	604,320	609,815
投資その他の資産		
投資有価証券	348,380	457,240
差入保証金	114,590	114,265
繰延税金資産	13,865	13,865
その他	28,431	28,722
貸倒引当金	△244	△736
投資その他の資産合計	505,023	613,357
固定資産合計	1,232,199	1,344,479
資産合計	6,502,157	6,404,048

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	98,960	118,761
短期借入金	800,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	4,008	4,008
未払金	1,985,520	2,401,564
未払法人税等	110,232	40,042
賞与引当金	32,662	22,974
その他	133,252	125,614
流動負債合計	3,164,636	3,012,966
固定負債		
長期借入金	3,634	2,632
その他	64,957	99,374
固定負債合計	68,591	102,006
負債合計	3,233,227	3,114,973
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,113,300	1,113,300
資本剰余金	637,340	638,330
利益剰余金	1,813,455	1,732,840
自己株式	△466,962	△434,062
株主資本合計	3,097,134	3,050,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157,641	234,112
為替換算調整勘定	1,043	—
その他の包括利益累計額合計	158,685	234,112
新株予約権	6,637	4,553
非支配株主持分	6,472	—
純資産合計	3,268,929	3,289,074
負債純資産合計	6,502,157	6,404,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2017年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)
売上高	1,206,868	1,433,572
売上原価	437,385	545,212
売上総利益	769,483	888,359
販売費及び一般管理費	563,572	785,568
営業利益	205,911	102,791
営業外収益		
受取利息	16	39
貸倒引当金戻入額	—	5,005
持分法による投資利益	3,789	4,754
その他	1,065	420
営業外収益合計	4,871	10,219
営業外費用		
支払利息	254	563
為替差損	12	455
その他	32	28
営業外費用合計	299	1,046
経常利益	210,482	111,964
特別利益		
関係会社株式売却益	—	15,667
特別利益合計	—	15,667
特別損失		
固定資産除却損	547	—
特別損失合計	547	—
税金等調整前四半期純利益	209,935	127,631
法人税等	68,707	36,106
四半期純利益	141,228	91,524
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△557	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	141,786	91,524

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2017年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)
四半期純利益	141,228	91,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,153	76,470
為替換算調整勘定	△15	△1,043
その他の包括利益合計	30,138	75,426
四半期包括利益	171,366	166,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,506	166,951
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,139	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	858,906	347,962	1,206,868	—	1,206,868
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	44,989	44,989	△44,989	—
計	858,906	392,951	1,251,857	△44,989	1,206,868
セグメント利益	221,620	48,748	270,368	△64,457	205,911
その他の項目					
減価償却費	35,800	2,948	38,748	—	38,748
のれん償却額	—	25,708	25,708	—	25,708

(注) 1. セグメント利益の調整額△64,457千円は、報告セグメントの減価償却費△38,748千円及びのれん償却額△25,708千円が含まれております。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,116,643	316,928	1,433,572	—	1,433,572
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	53,598	53,598	△53,598	—
計	1,116,643	370,526	1,487,170	△53,598	1,433,572
セグメント利益	113,880	42,075	155,955	△53,164	102,791
その他の項目					
減価償却費	49,153	4,011	53,164	—	53,164
のれん償却額	—	—	—	—	—

(注) 1. セグメント利益の調整額△53,164千円は、報告セグメントの減価償却費であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。